

# 入院患者の転倒・転落発生率

分母：入院患者延べ数（24時在院患者+退院患者数の合計）

分子：A) 報告のあった入院患者の転倒・転落件数

分子：B) 治療を必要とする転倒・転落件数

	2011年	2012年	単位
入院患者延べ数（24時在院患者+退院患者数の合計）	86614	86114	件
A) 報告のあった入院患者の転倒・転落件数	557	819	件
B) 治療を必要とする転倒・転落件数	22	18	件
A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率	6.43	9.51	%
B) 治療を必要とする転倒・転落発生率	0.25	0.21	%

転倒転落事故は、入院による環境の変化・疾患そのものの影響や治療・手術などの身体的なものなど様々なリスク要因があります。転倒転落を完全に防止することは難しいですが、万が一転倒しても外傷が比較的軽く済むように日々取り組んでおります。

2012年の転倒・転落発生率は、前年と比較し**3.08%増加**、治療を必要とする転倒・転落発生率では**0.04%減少**という結果であった。以上の結果を踏まえて、転倒・転落発生事故を未然に防ぐ対策を見直し、病院全体取り組んでおります。

